院内がん登録集計（2021年診断症例）

集計には「がん診療連携拠点病院院内がん登録2021年全国集計」に提出した院内がん登録データを用いています。

※参考値の「京都府」は、京都府のがん診療連携拠点病院・地域がん診療病院13施設のデータで、京都府の全患者を網羅しているものではありません。「全国」は、全国のがん診療連携拠点病院等453施設のデータで、全国の全患者を網羅しているものではありません。また、同一症例が複数施設で登録されている場合があります。

※症例区分80（その他）について ： セカンドオピニオンのみの症例は登録しなくてもよいこととなっていますが、2015年診断例までは症例区分80（その他）として任意で登録されていました。そのため、施設によっては現在も登録されている場合が考えられます。全国集計では、施設間での比較を可能にするため、症例区分80を除いた数を集計登録数と定義しそれぞれの集計を行っています。当院も全国集計にならい、症例区分80（その他）を除き集計を行っています。

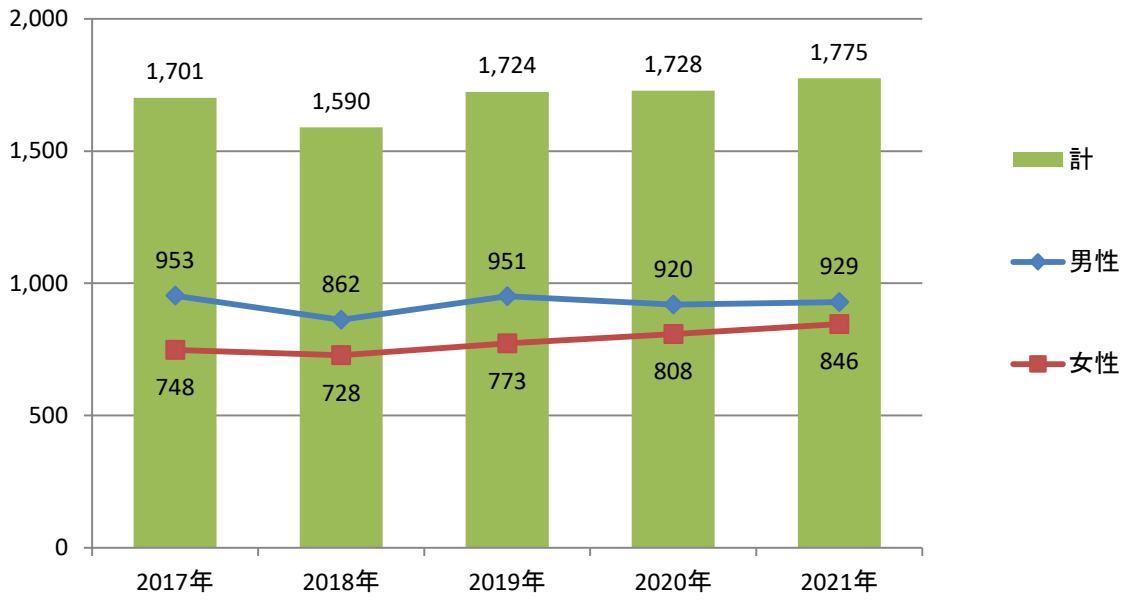
※2021年診断症例はUICC　TNM　第8版を使用しています。

登録数の年次推移
年齢別登録数
部位別登録数
症例区分
来院経路
発見経緯
ステージ別集計（胃癌・大腸癌・肝癌・肺癌・乳癌）

登録数の年次推移

症例区分80を除いた集計

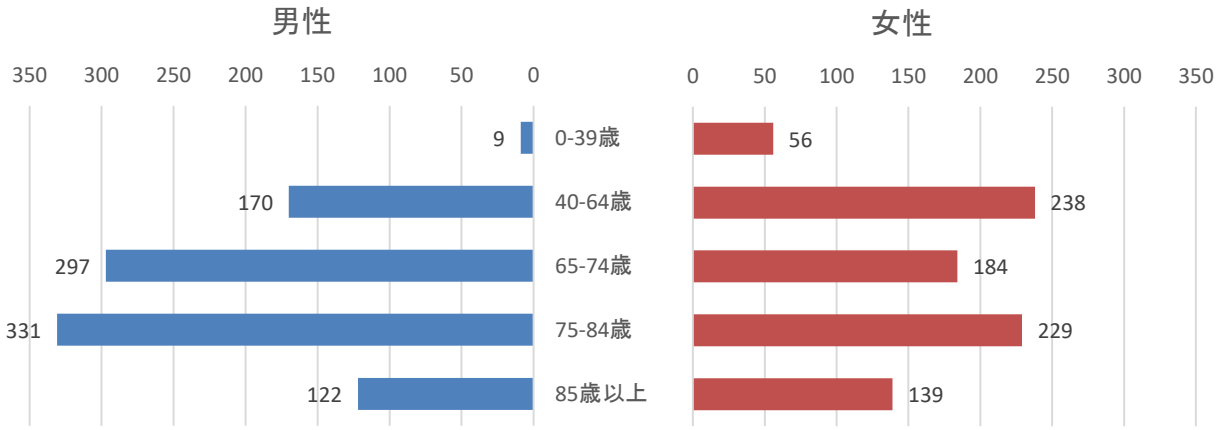
	診断年				
	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
男性	953	862	951	920	929
女性	748	728	773	808	846
計	1,701	1,590	1,724	1,728	1,775

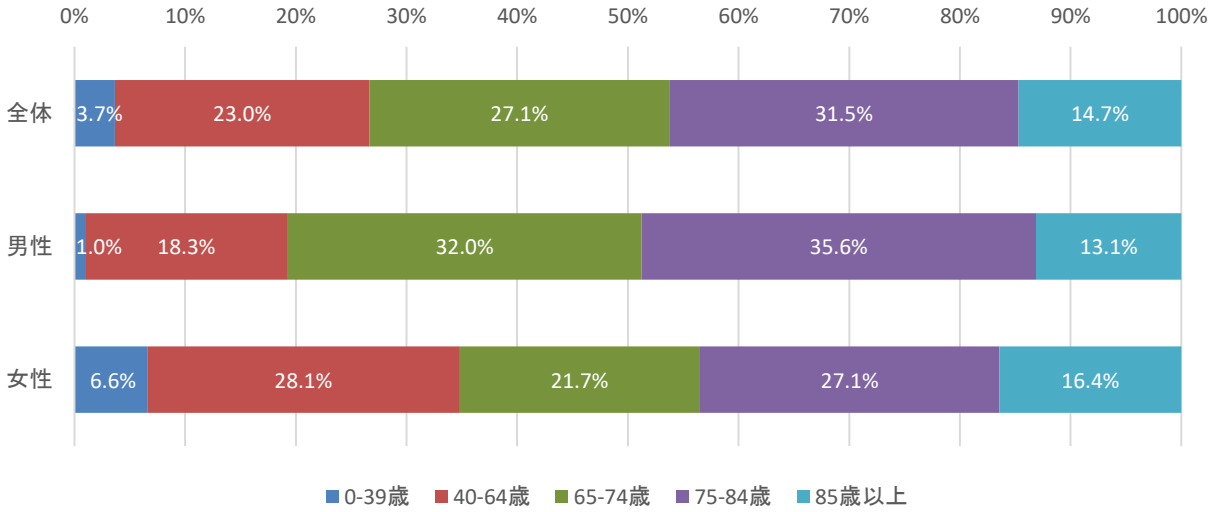


年齢別登録数

症例区分80を除いた集計

	全体	男性	女性
0-39歳	65	9	56
40-64歳	408	170	238
65-74歳	481	297	184
75-84歳	560	331	229
85歳以上	261	122	139
計	1,775	929	846



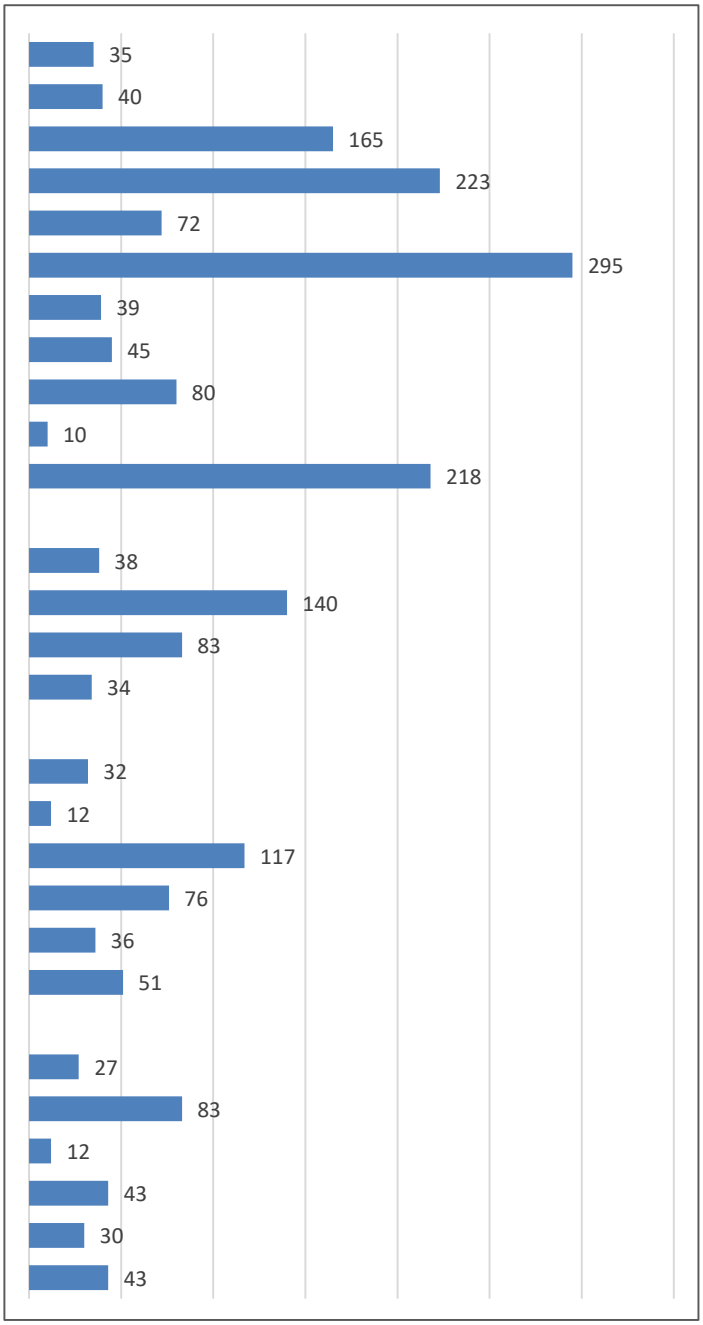


部位別登録数

症例区分80を除いた集計

（件）

	2021年	
口腔・咽頭	35	
食道	40	
胃	165	
結腸	223	
直腸	72	
大腸（結腸+直腸）	295	※再掲
肝臓	39	
胆嚢・胆管	45	
膵臓	80	
喉頭	10	
肺	218	
骨・軟部	1～3	
皮膚	38	
乳房	140	
子宮頸部	83	
子宮体部	34	
子宮	0	
卵巣	32	
（上記のうち境界悪性腫瘍）	12	※再掲
前立腺	117	
膀胱	76	
腎・尿路	36	
脳・神経	51	
（上記のうち脊髄）	1～3	※再掲
甲状腺	27	
悪性リンパ腫	83	
多発性骨髄腫	12	
白血病	43	
他の血液	30	
その他	43	
総数	1,775	



※髄膜・脳・脊髄および中枢神経系に発生した腫瘍に関しては、原則的に良性であっても登録対象であるため集計対象とする。

※子宮頸部の集計には、CIN，Ⅲの上皮内腫瘍を含む。

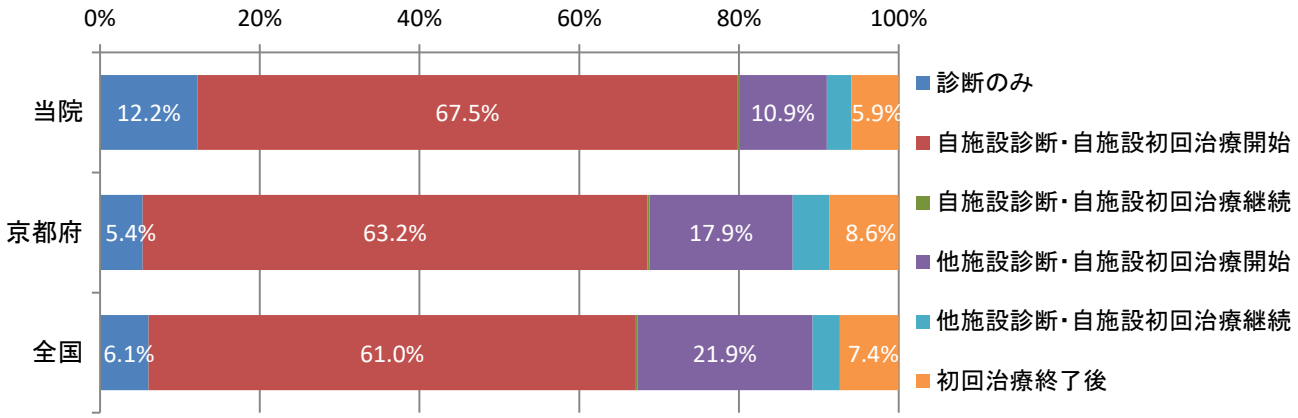
※1件以上 10件未満の場合は、1～3、4～6、7～9と表示。グラフは非表示。

症例区分

症例区分80を除いた集計

がんの診断や治療において、主にどのような役割を果たしているかを推測するための項目です。

当院でがんと診断し、当院で初回治療を開始した症例が 67.5%
他施設でがんと診断された後に、当院で初回治療を開始した症例が 10.9% となっています。
全体のおよそ 8 割 が当院で初回治療を開始しています。



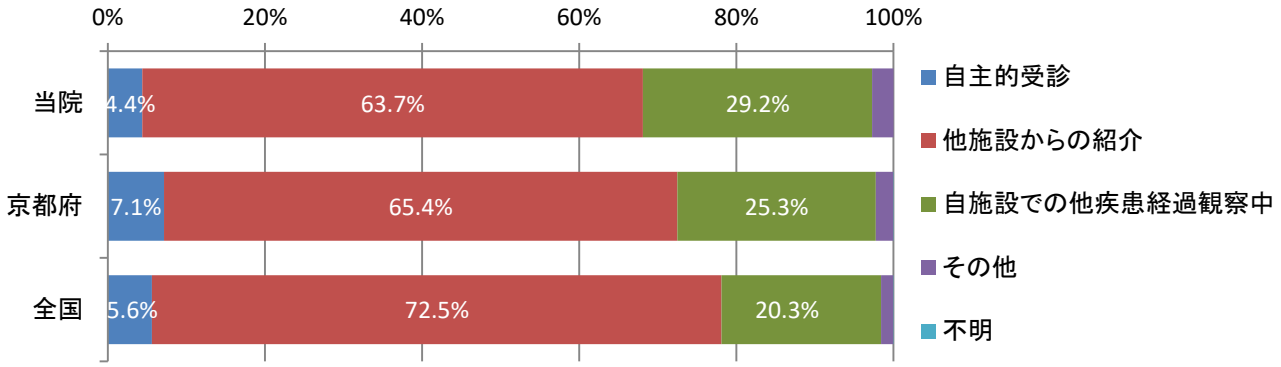
診断のみ ：	当院で診断したが、治療の施行は他施設へ紹介・依頼した場合。
自施設診断・自施設初回治療開始 ：	当院で診断および初回治療に関する決定をし、腫瘍そのものへの治療を開始した場合。（経過観察の決定、実行も含む）
自施設診断・自施設初回治療継続 ：	当院で診断した後、他施設で初回治療が開始され、その後、当院で初回治療の一部を実施した場合。（当院での経過観察の実行は含まない）
他施設診断・自施設初回治療開始 ：	他施設で診断された後、当院を受診し、当院で腫瘍そのものへの治療を開始した場合。（経過観察の決定、実行も含む）
他施設診断・自施設初回治療継続 ：	他施設で診断した後、他施設で初回治療が開始され、その後、当院で初回治療の一部を実施した場合。（当院での経過観察の実行は含まない）
初回治療終了後 ：	他施設で初回治療終了後に当院を受診した場合。 当院受診後の治療の有無は問わない。

来院経路（当院を受診したきっかけ）

症例区分80を除いた集計

がん患者がどのような経路によって当院を受診したかを把握するための項目です。

他院からの紹介が最も多く 63.7%
次いで、自施設での他疾患経過観察中が 29.2% です。



自主的受診　：　がん患者が、他施設の紹介等ではなく、当該腫瘍や関連症状に関して自主的に当院を選択して、初診した場合。

他施設からの紹介　：　他の施設（異なる施設に属する検診機関等も含む）からの紹介で、初診した場合。

自施設での他疾患経過観察中：当院で他疾患により経過観察中に、がんと診断あるいはがんが疑われた場合。

その他　：　上記に当てはまらないもの。剖検で発見された場合を含む。

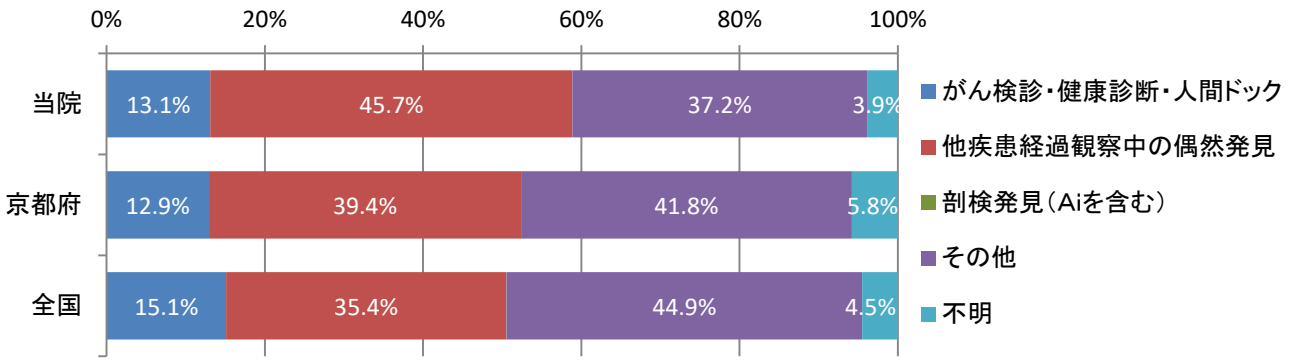
不明　：　診断にいたる発端が不明の場合。

発見経緯（がんが発見されたきっかけ）

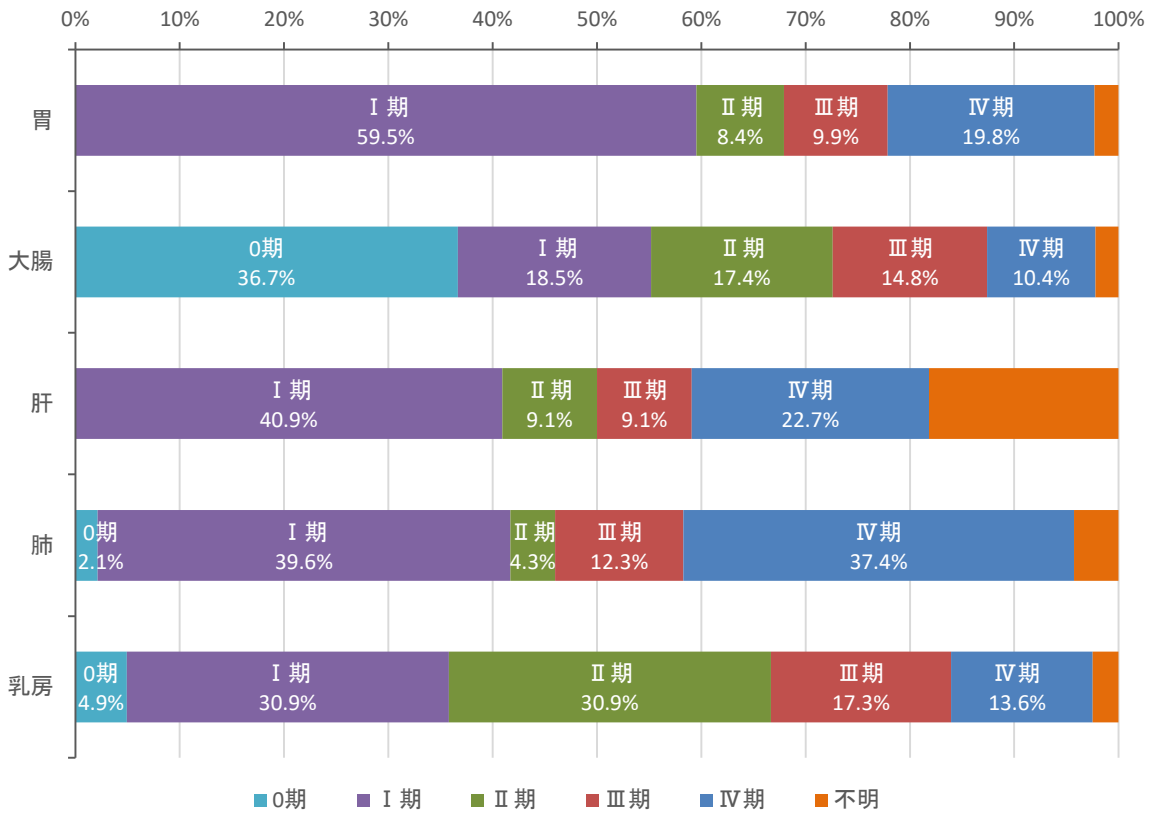
症例区分80を除いた集計

がんと診断される発端となった状況を把握するための項目です。

他疾患の経過観察中の偶然発見が最も多く45.7%
次いで、その他（自覚症状による受診を含む）が 37.2% です。



がん検診・健康診断・人間ドック ：	市区町村が実施する「がん検診」の他、老人健康診査や自主的に受診する健康診断、あるいは人間ドックでの結果により、医療機関を受診した場合。
他疾患経過観察中の偶然発見 ：	当院・他施設を問わず、他の疾患で経過観察中に実施された検査などにより、偶然発見されたもの。 （エピソード終了後のフォローアップ中の発見を含む）
剖検発見（Aiを含む） ：	死体解剖（剖検）ではじめて診断された場合。 （Autopsy imagingによる診断を含む）
その他 ：	上記に当てはまらないもの。（自覚症状による受診を含む）
不明 ：	診断にいたる発端が不明の場合。

ステージ別集計（胃癌、大腸癌、肝癌、肺癌、乳癌）

※自施設初回治療開始症例・癌腫症例を対象に、UICC　TNM分類　総合ステージ別に集計。